

報道機関各位

令和7年10月15日

東京都指定有形文化財「旧本田家住宅」 復原工事の『いま』Ⅱを公開します

～茅葺き屋根が完成、いよいよ大詰めを迎える復原事業の最新情報をパネル・スライドで紹介～

市は、東京都指定有形文化財「旧本田家住宅」の復原工事の進捗状況を、東京文化財ウィーク2025に合わせて広く一般に公開いたします。

本企画展「旧本田家住宅復原事業の『いま』Ⅱ」では、施工が完了した茅葺き屋根の施工状況や、工事に伴う埋蔵文化財の調査結果、さらに本田家旧蔵資料など、復原事業の最新情報を展示します。

このことを広く周知したく、ぜひ、貴媒体での告知および取材・掲載方、お願いいたします。

概要

■展示企画名 旧本田家住宅復原事業の『いま』Ⅱ

■内容 パネル・スライド展示

■日時 10月21日(火)正午～27日(月)午後2時
※土・日曜日:午前9時開始
※その他の日:午前10時～午後7時

■場所 旧国立駅舎 展示室(国立市東1-1-69)



▲展示の様子(令和6年)。

備考

【旧本田家住宅 概要】

平成28年に第16代当主本田^{たかお}味夫氏より住宅・表門・敷地・資料が市に寄贈されました。

令和2年に東京都指定有形文化財に指定されています。令和5年9月に復原工事に着手し、現在は完成に向けて作業が進行しています。

問い合わせ

国立市 教育部 生涯学習課 社会教育・文化芸術係
TEL042-576-2111 内線(320)

旧本田家住宅復原事業の「いま」II



(復原工事) 茅葺き屋根施工完了

展示内容

- ・ 復原工事の進捗状況
- ・ 埋蔵文化財の調査状況
- ・ 本田家旧蔵資料のご紹介
～本田家の薬業～



埋蔵文化財調査状況

◀本田家の門に掲げられていた
「黒龍散本舗 本田薬館」の看板

9代定綏(随庵)(1761～1834)の頃から産婦人科を得意とし、家伝薬「黒龍散」を製造販売してきた歴史等をご紹介します。



日程：2025年10月21日(火)～27日(月)

平日(10時～19時) 休日(9時～19時)

※21日(12時～19時) 27日(10時～14時)

場所：旧国立駅舎展示室(JR国立駅南口徒歩1分)

主催：国立市教育委員会教育部生涯学習課

お問い合わせ 042-576-2111(内323)

入場無料

※旧本田家住宅は工事中のため立ち入ることが出来ません

【旧本田家住宅とは】

平成28(2016)年十六代当主本田味夫氏より、本田家住宅・表門・敷地・資料を国立市に寄贈頂きました。

本田家住宅は、民家としては都内で最も古い時代の特徴を残すとともに、近代に至るまで民家建築の変遷の過程を示すものとして、かつ、江戸近郊の名主階級の発展の歴史を示すものとして、歴史的・学術的価値が高いと評価され、令和2(2020)年東京都指定有形文化財(建造物)に指定されました。

令和5(2023)年から復原工事に着手し、現在、完成に向けて大詰めを迎えております。